

【広島市消費者物価指数】

1 平成 25 年 11 月の動向

- 広島市総合指数（100.5）は前月比で3か月連続の上昇。前年同月比は5か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.4）は前月比で2か月連続の上昇。前年同月比は5か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.8）は前月比で5か月ぶりの下落。前年同月比は2か月連続の上昇。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.5	0.2	1.6
生鮮食品を除く総合指数	100.4	0.1	1.1
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.8	▲0.1	0.8

3 前月からの動き

～食料は上昇、家具・家事用品は下落。～

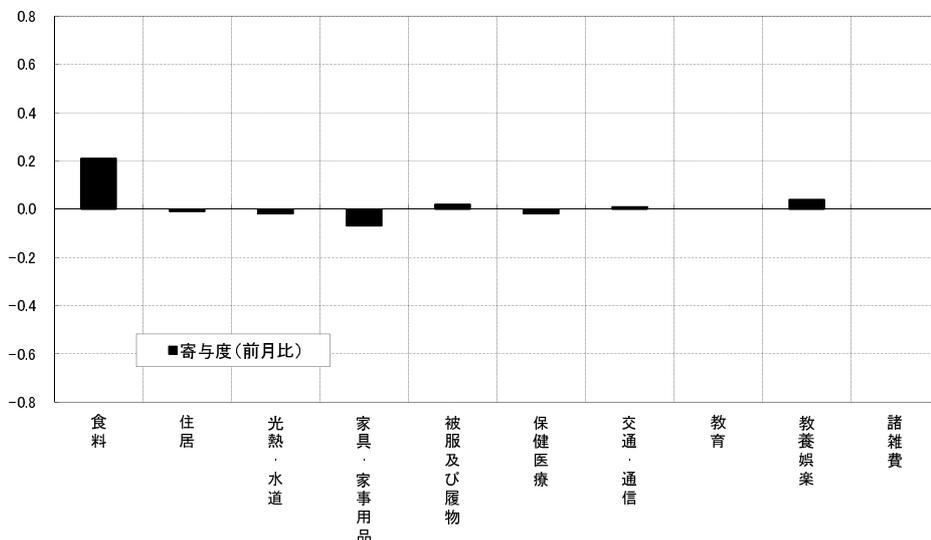
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.5	100.8	98.8	109.2	90.7	105.9	98.4	102.6	98.8	93.3	107.2
前月比 (%)	0.2	0.8	▲0.1	▲0.2	▲2.0	0.5	▲0.4	0.1	0.0	0.4	0.0
寄与度	0.2	0.21	▲0.01	▲0.02	▲0.07	0.02	▲0.02	0.01	0.00	0.04	0.00

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：果 物（前月比 9.1%，寄与度 0.08）等
 家具・家事用品：家庭用耐久財（前月比 ▲5.4%，寄与度 ▲0.07）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	5.1%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲5.4%
果物 (りんご[ふじ] 等)	9.1%	教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	▲0.7%
野菜・海藻 (えのきだけ 等)	2.2%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.1%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	0.3%	理美容用品 (ヘアカラー 等)	▲1.0%
菓子類 (ケーキ 等)	1.5%	医薬品・健康保持用摂取品 (皮膚病薬 等)	▲1.4%

4 前年同月からの動き

～食料及び交通・通信は上昇, 家具・家事用品は下落。～

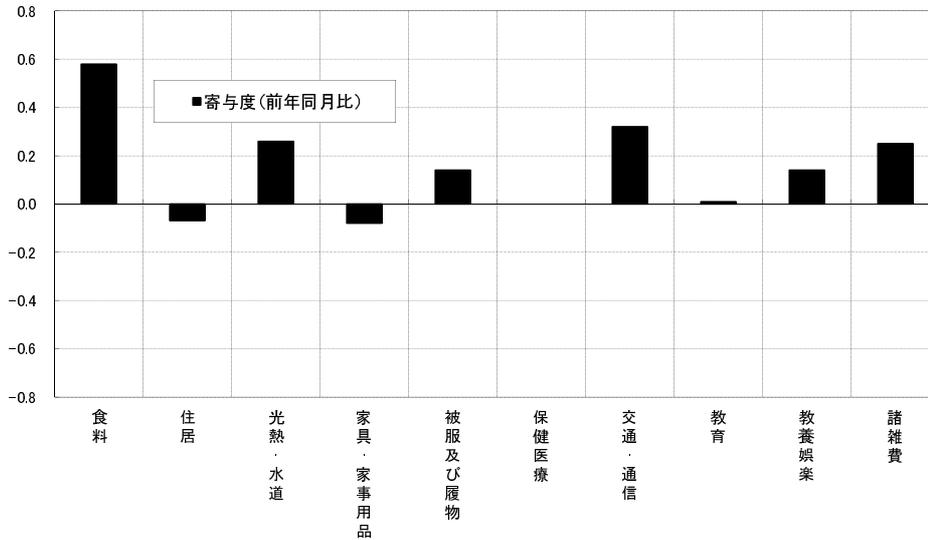
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	1.6	2.3	▲0.3	3.3	▲2.1	3.0	0.1	2.3	0.4	1.3	3.9
寄与度	1.6	0.58	▲0.07	0.26	▲0.08	0.14	0.00	0.32	0.01	0.14	0.25

(参考) 主な要因となっている10大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

食料: 野菜・海藻 (前年同月比 16.4%, 寄与度 0.40) 等
 交通・通信: 自動車等関係費 (前年同月比 3.8% 寄与度 0.29) 等
 家具・家事用品: 家庭用耐久財 (前年同月比 ▲4.4%, 寄与度 ▲0.06) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
野菜・海藻 (キャベツ 等)	16.4%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.7%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	3.8%	教養娯楽用品 (ペットフード[キャットフード] 等)	▲3.8%
教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	11.7%	家庭用耐久財 (ガステーブル 等)	▲4.4%
他の諸雑費 (傷害保険料 等)	7.7%	穀類 (うるち米 等)	▲3.0%
電気代 (電気代 等)	3.9%	飲料 (紅茶 等)	▲3.2%